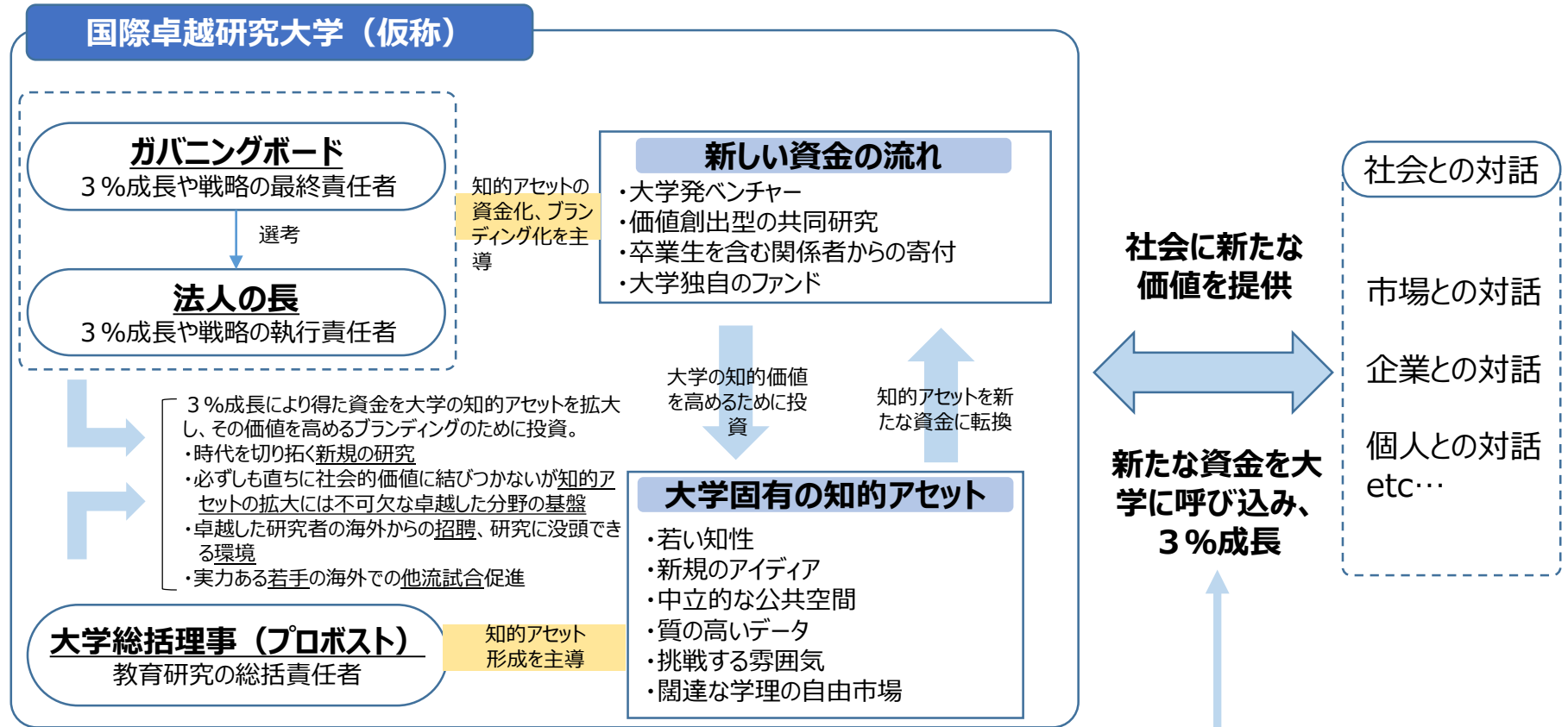


# 大学ファンドによる支援のイメージ



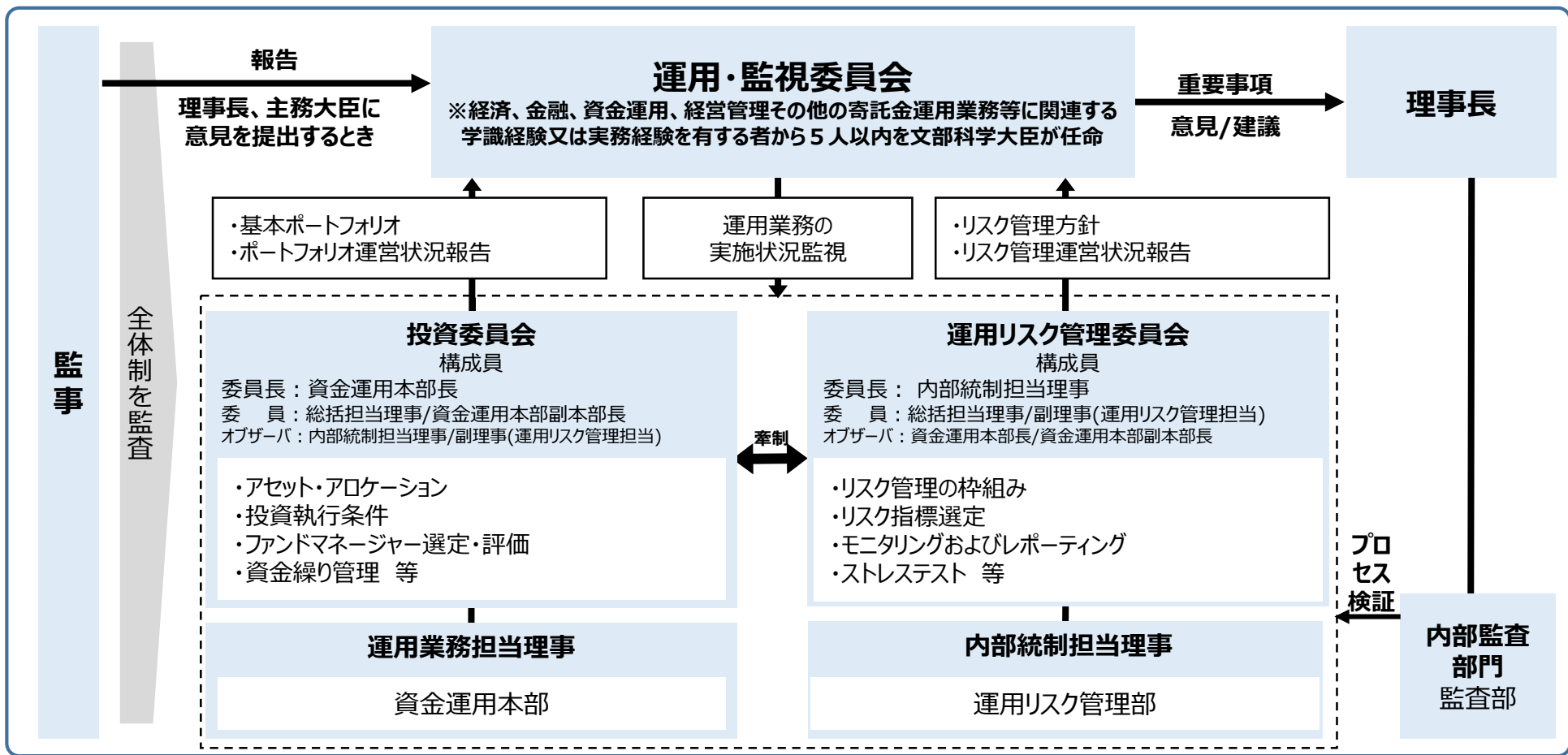
## ＜大学ファンドからの支援の基本的考え方＞

- 支援校数は段階的に増加。**対象校数は厳正に管理（数校程度を予定）**
- 大学の成長実現のため**継続的・安定的に支援**。自律化時には卒業。
- 中長期的な観点からコミットメントの達成状況を**客観的指標で評価**。
- 支援は**外部資金の獲得に応じてマッチング**。1校当たり**年間数百億円**を想定。
- 支援金の**使途の柔軟性**を確保。
- 大学の**独自基金造成**と大学からJSTファンドへの資金拠出の在り方を考慮。

外部資金の獲得状況に応じてマッチング支援

# 資金運用に係る国立研究開発法人科学技術学術振興機構（JST）におけるガバナンス体制

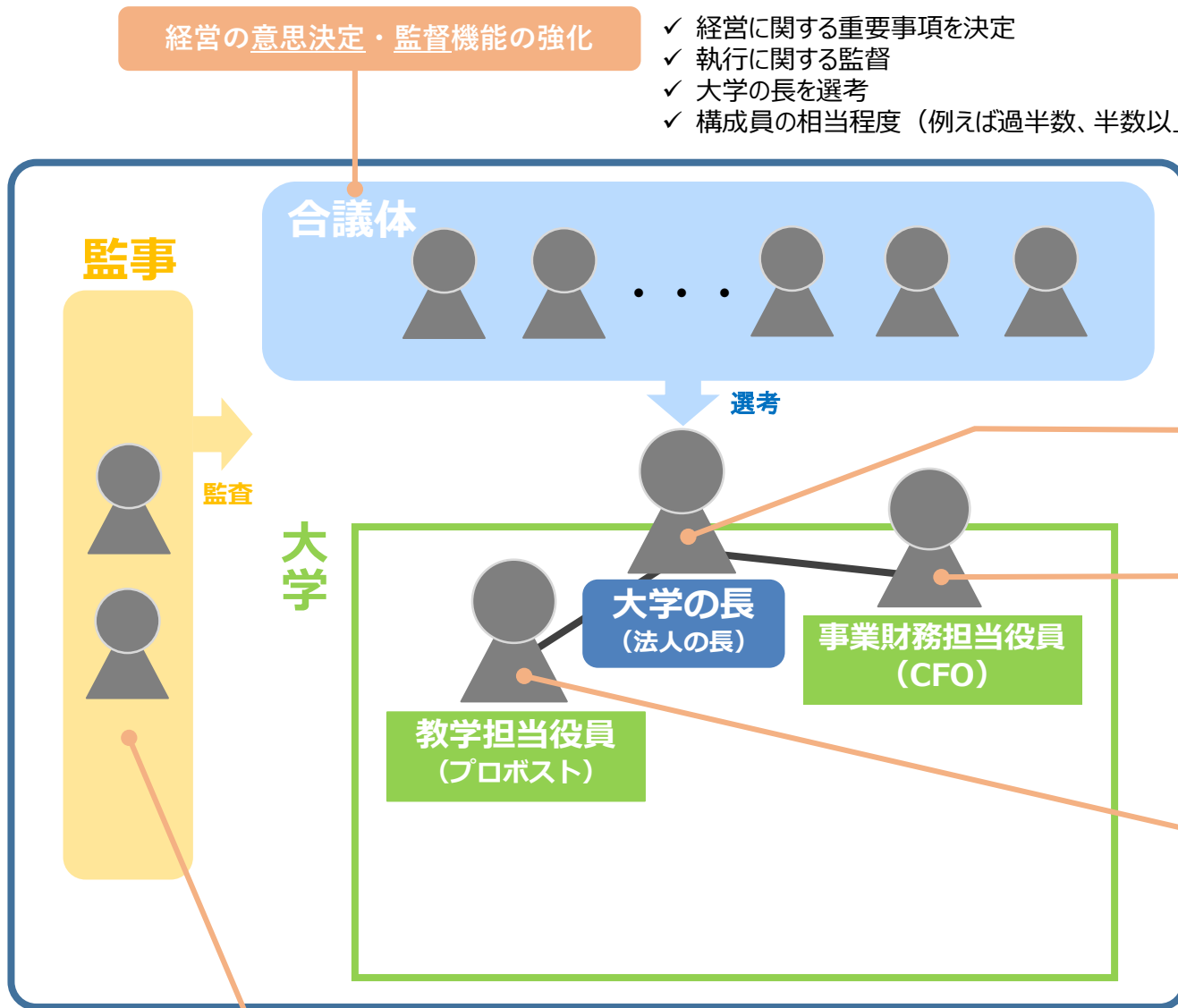
- 投資部門（1線）、リスク管理部門（2線）により業務運営上の牽制体制を構築し、監査部門（3線）がこれを監査する3線防衛によるガバナンス体制を構築。
- 運用・監視委員会は、文部科学大臣が任命する外部の有識者で構成される最上位の機関として、基本ポートフォリオ等の重要事項の審議、運用業務の監視、必要に応じ理事長に意見・建議。



# 国際卓越研究大学（仮称）におけるガバナンス（イメージ）

「世界と伍する研究大学の在り方について 最終まとめ（令和4年2月1日 総合科学技術・イノベーション会議決定）」別添より

法人



- ✓ 経営に関する重要事項を決定
- ✓ 執行に関する監督
- ✓ 大学の長を選考
- ✓ 構成員の相当程度（例えば過半数、半数以上等）は学外者

## 経営と教学の役割分担

- ✓ 経営的資質を有し、大学経営の自律性を高めるための様々な取組を実行し、国際卓越研究大学（仮称）のミッションの達成を目指す
- ✓ 教学担当役員（プロボスト）や事業財務担当役員（CFO）と緊密に連携

## 経営の執行機能の強化

- ✓ 大学の長のリーダーシップの下、多様な財源を確保し継続的な財政基盤の強化を図る

## 経営と教学の役割分担

- ✓ 大学の長のリーダーシップの下、優秀な研究者の獲得や研究環境の整備など教学機能の強化を図る

## 内部監査システムの強化

- ✓ 大学の長やその他役員への監査
- ✓ 少なくとも1人は常勤
- ✓ 独立した専門の監査部門を有する
- ✓ 定期的に合議体の議論に参画